

令和 7 年度

学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画		
学 校 運 営 方 針	<教育目標> 誠実で自立して在る若人の育成 <スクール・ミッション> 【探究学習をとおして、多様な人々と協働し地域や社会に貢献する人材を育成する学校】 ・学究型の伝統校として、確かな学力を定着させ、自他の心と生命を尊重する精神、持続的に努力する気力・体力、課題解決能力を向上させる力を育成する。 ・探究的な学びや活動をとおして、身に付けた知識・技能、思考力・判断力・表現力を生かし、多様な人々と協働し地域や社会に貢献する人材を育成する。 ・学校設定教科「医療専攻」の学びをとおして、将来、地域医療を担う人材の育成に貢献する。 <校長の学校経営ビジョン> ・スクール・ミッションの実現に向け、スクール・ポリシーを起点とした教育活動の改善を図る。 ・社会の変化に主体的に向き合い、他者と協働し対応できる「新しい時代に求められる力」を育成するため、探究的な学びの一層の充実と地元企業や大学等関係諸機関との連携強化を図る。 ・社会と繋がる力の育成、学びを深める力の育成、進路に繋げる力の育成により、3年間の成長のストーリーを描く。 ・効率的・効果的で円滑な校務を推進し、働き方改革と職員のワーク・ライフ・バランスを促進する。	
	三つの方針(スクール・ポリシー)	
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	① 情報を集め、選択し、理解して、課題を見つける力を育成します。 ② 情報や知識を深め、広げて、課題を考察していく力を育成します。 ③ 情報を発信し、社会や地域とつながり、協働する力を育成します。 ④ 前向きにものごとを捉え、諦めず、努力を続ける力を育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	① 課題発見に必要な情報収集のために様々な媒体を活用する授業を行います。 ② 実物に触れる等、実体験をとおして知識を深められる教育活動を行います。 ③ 集団において意見の発表や議論を繰り返し、相互評価する授業を行います。 ④ 社会や地域と協働等をとおして、課題解決に挑戦する教育活動を行います。 ⑤ 集団活動を通じて多様な仲間と協力し、社会性を育成する取組を行います。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	① 知的好奇心があり、失敗を恐れず、粘り強く挑戦しようとする生徒 ② 物事に熱心に取り組んだ経験があり、入学後もそれを活かせる生徒 ③ ふるさとを誇りに思い、自ら行動し、さらなる活性化を目指す生徒 ④ 向上心があり、まわりに自分の意見を積極的に伝えようとする生徒 ⑤ 社会性があり、まわりの意見を尊重し、課題解決しようとする生徒	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
医療専攻8期生が卒業し、看護・医療系大学等への進学率が前年を上回るなど成果を上げた。医療専攻のプログラムに更なる充実と探究活動の充実を加え、引き続きキャリア形成の醸成と、これらを主体的に進路選択に活かす力を身に付けさせるよう授業改善を図りたい。 大学短大進学希望者の進路実現についても、難関国立大学合格者が出るなど例年以上の成果がみられた。引き続き、3年間を見通した継続的で組織的指導となるよう努める。	円滑な校務運営と教育課程の実施に努めるとともに同窓会と連携し、探究活動を充実させる。 ICT等の利活用を更に推進し、確かな学力の定着を図り、進路希望を達成させる。	円滑な校務運営と教育課程の実施による授業時数確保とICT等を活用した確かな学力の定着を図る。
	基本的生活習慣の確立を促し、規範意識の涵養に努める。また、交通安全指導を徹底する。	継続的で組織的な進路指導体制を確立し、探究活動等を通じて、生徒の多様な進路希望達成を支援する。
		基本的生活習慣確立を促す指導を徹底する。
	部活動と学校行事の活性化を促して生徒同士の関係構築能力を高め、安心・安全で心身ともに健康な学校生活の実現を図る。	生徒の自主的・自律的な生活態度の確立を促し、規範意識の涵養に努める。
		部活動と学校行事の活性化を促し、自主的・意欲的に行動しようとする態度の育成に努める。
		保健指導と教育相談体制を充実させ、生徒が心身ともに健康な学校生活を送れるよう支援する。

同窓会の支援により地元企業や行政等との連携が強化され、地域探究、社会探究など探究的な学びの充実を図ることができた。引き続き外部との連携協働による教育活動に取り組む。 いじめ事案への組織的対応、早期発見・早期対応を徹底し、日常的な生徒との面談や職員間での情報共有に努めている。引き続き体制を維持するとともに、一人一人の生徒を尊重し対応する。 教員の時間外勤務時間の縮減に対する意識は徐々に高まっている。更なる縮減を図り、ワーク・ライフ・バランスが保たれるよう働き掛ける。		P T A活動のさらなる活性化を図り、生徒の学びの環境の充実を図る。また、生徒が利用しやすい図書環境作りに努める。 業務内容の精選を行い、業務の平準化を図ることで、教員の時間外勤務時間を縮減する。	P T A行事等の企画運営やP T Aだより等の発行により保護者等への情報提供、保護者等との連携を深め、P T A活動の活性化を図る。 図書館の資料整備・充実を進め、利用しやすい環境作りに努める。 募集学級の減少に伴い、職員定数が減少することから、校務分掌編成や業務内容の見直しが必要となる。部活動においても部員数や活動状況による部活動数の精選が必要である。業務分担の適正配置により時間外勤務時間月 80 時間、年間 720 時間超を出さない。		
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価	
円滑な教育課程の実施	円滑な校務運営と教育課程の実施によって授業時数の確保と確かな学力の定着を図る指導に努める。	他分掌・各学年との連携を深め、円滑な校務運営に努める。			
		生徒・教職員の負担軽減を図りつつ、授業時数の確保に努める。			
		授業変更等により、生徒の学習時間の確保を図る。			
		チャイム前の授業準備や、迅速な教室移動を生徒に指導する。			
		必要な課題を適切に指示し、生徒の主体的な学習習慣の確立を促す。			
		ホームページ等を活用して、保護者等や地域への情報発信に努める。			
生徒の進路希望達成	継続的で組織的なキャリア支援体制を確立する。	キャリア指導部と学年が連携し、将来を見通したキャリア指導計画を作成する。			
		「進路のしおり」を作成し、各学年段階で必要な指導を継続的に行う。			
	生徒の多様な進路希望実現を支援する。	生徒の進路希望実現に効果的な模試や教材の活用を検討・実践する。			
		講演会等を計画的に実施し、早期からキャリア意識を高める。			
指導の徹底と規範意識の涵養	交通安全指導を徹底する。	交通講話やバイク実技講習会、全校集会を通じて交通安全指導を徹底する。			
		街頭指導及び駐輪指導を実施し、交通事故防止を図る。			
	基本的生活習慣の確立を促し、自立的な生活態度と規範意識の涵養を図る	薬物乱用防止講話や、インターネットを含む携帯電話に関する講話を実施する。			
		頭髪・服装検査を学期始めに実施し、全職員で指導の徹底を図る。			
		朝の声かけを継続的に実施し、服装や遅刻防止、挨拶の励行等を指導する。			
		規律委員会でポスターを制作するなど、生徒が互いに注意できる環境を作る。			
		定期的に学校生活調査を実施し、いじめ等の現状把握と防止教育に取り組む。			
		部活動と学校行事の活性化	部活動と行事の活性化を促し、自主的・意欲的に行動する態度の育成に努める。	行事への積極的参加を促し、自主的・意欲的に行動し、実践する態度を育成する。	
部活動紹介等を通じて、全校生徒に部活動への積極的参加を促す。					
部活動を通じて、さらなる学校生活の活性化を図る。					

心身ともに健康な学校生活の実現		保健指導と教育相談体制を充実させる。	健康診断を着実に実施し、事後措置についても丁寧に指導する。			
			生徒の心身の健康について、職員間で情報を共有し協働して関わる。			
		安全かつ快適な学校生活環境をつくる。	防災計画を確実に遂行し、地震・火災等への安全体制を徹底する。			
			学校内外（部室・セミナーハウスを含む）の環境整備を行い、美化に努める。			
保護者等との連携の推進	P T A活動に対する保護者等の参加を促し保護者等と学校との連携を深め、P T A活動の一層の活性化を図る。	P T A理事との連携を深め、諸事業への積極的な参加を図る。				
		P T A広報誌「かけはし」を年2回発行し、学校やP T A諸活動を広く紹介する。				
		大学等のオープンキャンパスへの参加報告を実施し、保護者等の進路に関する意識の啓発・向上を図る。				
		理事会等の実施をととして、保護者等との連携に努める。				
資料の整備と利用の促進	利用しやすい図書館の環境作りに向けて、資料整備や充実に努める。	図書館資料の充実を図り、授業実施の支援と生徒の学習支援に努める。				
		図書委員会の活動がより活発になるよう、指導に努める。				
		蔵書整理や館内環境の整備を進め、将来予想される校舎改修に備える。				
働き方の見直し	時間外勤務時間月 80 時間、年間 720 時間超を出さない。	出退校簿、登庁申請簿などから教員の在校等時間を客観的に把握し、長時間在校等傾向を改善するために、定時退庁日と学校閉庁日を適切に設定する。休暇等が取得しやすいように業務の平準化を図る。				
		本校の部活動に係る活動方針で定めた活動時間や休養日等の遵守に努める。また、部活動や大会運営など複数の顧問で対応することができるよう調整する。				
各学年での指導の充実	1 学年	【社会と繋がる力の育成】 生徒の自己実現のため、基礎学力の定着と主体的で規律ある生活態度を育成する。	生徒面談を綿密に行い、高い進路目標を持たせ、それに向けて努力させる。			
			生徒が新しい環境に円滑に適応できるよう、家庭と連携し支援する。			
			予習復習など家庭学習習慣の定着を目指し、基礎学力を向上させる。			
			自律した高校生になれるよう、学業と課外活動の両立に留意させる。			
	2 学年	【学びを深める力の育成】 進路希望の実現に向け、更なる学力の定着と、前向きで意欲的な生活態度を育成する。	生徒面談を定期的に行い、家庭との連携を密にして、生徒が主体的・協働的に高校生活を送ることができるよう努める。			
			模試の有効活用と朝学習の充実により、学習習慣の確立と学力の伸長を図る。			
			学業と課外活動のバランスが取れた、中堅学年に相応しい自覚ある行動を促す。			
			継続的な情報提供や進路ガイダンス、個別面談により、生徒が進路等について主体的に考えるよう促す。			
	3 学年	【進路に繋げる力の育成】 自己実現のための人間力を養成し、学力伸長と進路希望達成を支援する。	生徒と面談を繰り返し、家庭との連携を密にして、生徒が主体的・協働的に学校生活を送れるよう支援する。			
			学習支援クラウドサービスや模試の有効活用と進路希望別講習の充実により、確実な学力伸長を図る。			
			継続的な情報提供や面接指導を行うことで、主体的な進路決定を促す。			
			進路ガイダンスと個別指導により、生徒の進路目標達成のための支援を行う。			
成果						総合評価